

★日中国際シンポジウム★

東アジアにおける 戦時動員の位相

日中戦争期から戦後にかけて、東アジア地域で展開されたヒト・カネ・モノの大量動員と戦後の動員解除、そして帝国解体のプロセスは、この地域の戦後体制の形成にどのような影響を与えたのか。日中双方の研究者が戦時動員をめぐって多角的に検証する。

その衝撃と遺産

10/12(土)
9:30~17:40

【第1国際会議場】

- ・主催者挨拶 王健朗 (中国社会科学院近代史研究所所长・中国抗日战争史学会長)
- ・基調報告 浅野豊美 (早稲田大学政治経済学術院教授・新学術領域「和解学の創成」領域代表)
- ・久保亨 (信州大学人文学部特任教授)
- ・楊奎松 (華東師範大学歴史系教授)
- ・松田忍 黄正林 笹川裕史 鄒海亮 劉黎 泉谷陽子 丸田孝志

10/13(日)
9:30~18:00

【8号館309・310教室】

- ・研究報告(セッションA/B) 黄道炫 王榮華 陳釗 島田大輔 藤井元博 森田健嗣ほか
- ・総合討論 司会：高士華 (中国社会科学院近代史研究所研究員、編集長) 劉傑 (早稲田大学社会科学総合学術院教授)

2019
10/12(土)→13(日)

早稲田大学
第1国際会議場(12日) & 8号館309・310教室(13日)

参加無料・申込不要・日中相互通訳付

主催：日中関係史研究会
中国抗日战争史学会
早稲田大学東アジア国際関係研究所
新学術領域研究「和解学の創成」
早稲田大学国際和解学研究所
『抗日戦争研究』編集部

問合せ先：wakai@list.waseda.jp

*プログラムの詳細は裏面をご覧ください。